みんなの文芸

俳句・短歌を募集
5日必着
作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して企画財政課までお寄せください。
1人1句、1首に限ります。

俳句 根岸茉莉 選　投稿数 17 句

羽化をする思春期の我夏衣　皆野　太幡　琉美花

(評)思春期は子どもと大人の入り混じった微妙な年頃。感受性豊かな時期でもあります。作者は夏の制服に衣替えして、羽化した蝶の様に心軽やかで清々しい気分になったのでしょう。自分を磨き、感謝の心を忘れずに。格好良い大人になれますよ。二句目、山里は雉子が増えて、畑や庭先にも美しい雄の姿が見られます。雌を呼ぶ鳴き声は甲高く、山にこだまし響き渡ります。正に〝万感を込め〟の表現がぴったりで素晴らしいです。三句目、新学期から1か月、緊張も少しほぐれ、クラスにも慣れて最初の参観日です。桜の若葉もそよ風にきらきら。子どもたちも元気はつらつ。保護者も家庭内とは違った子どもの一面も見られ楽しいですね。

雉子一声万感を込め放ちけり　三沢　眞下　杏子
雑念は空に放ちて更衣　三沢　新井　叶子
葉桜に耀う子等の参観日　皆野　小菅恭青史
藤房の垂れて岩場の華やげり　下日野沢　浅見　豊子
悲しみは誰の殻にもかたつむり　皆野　萩原　初恵
柵越えてさあ観てくれと薔薇の顔　下日野沢　小原　和夫
白無垢の幸の歩みに風光る　皆野　村田ハツ代
春光に射られ老体菜を間引く　下田野　新井　節子
森林浴しつつ山椒摘みにけり　三沢　新井　民子
地場産業今に遺して鯉のぼり　皆野　引間　千鶴

短　歌（投稿順）

窓開放陽の射す朝風呂湯気満ちて草津温泉湯畑模様　皆野　戸塚喜久雄
あの頃と変わらぬままの鏡岩ヒきじじばばの思い出もうつす　皆野　大澤　貴夫
観戦のWBC見入る朝侍ジャパンの勝利の嬉し　皆野　根岸　詩子
新幹線乗り継ぎ来たる來宮に集いし笑顔幸を願いて　皆野　村田ハツ代
山菜の時期の恵みを調理して食を楽しむささいな幸せ　三沢　新井　民子
誘はれて満開の山路を散策す友らを集い心和める　三沢　新井　叶子
木に絡まり見事に咲きし藤の花道行く人等写しておりぬ　下日野沢　浅見　豊子
苔むせる紫水の句碑をなぞり読む木々萌えつつじ咲く皇鈴山　三沢　眞下　杏子
色々な自然災害起る世に戦禍人災スーダンニュース　上日野沢　四方田利男
風止んで夕陽背に受け散歩へと桜蕊踏み小道を抜けて　下田野　新井　節子
遠忌かな初夏来れば咲くクレマチス我家の庭に姑買ひし苗　皆野　萩原　初恵
花粉舞ひ黄砂飛び来る霞空この春もなほマスク外さじ　皆野　打木　昭廣
ぶどう畑青きビニール膨らませ初夏を知らせて風は過ぎゆく　国神　藤原マキ子
旧友と昔し話しに花が咲き帰りたくなる十五の夜　皆野　石原　達也
隣には笑う友あり連休の行列でさえ愛しき時間　皆野　太幡琉美花
小さき客み～な公園の擒なり朝食前から行こうとせがむ　皆野　引間　万亀

「広報みなの」有料広告募集

180㎜
2号（縦50㎜×横180㎜）10,000円
1号（縦50㎜×横90㎜）5,000円
50㎜

毎月4,000部発行され、各世帯に配付されます。
ぜひご活用ください。

申込み　企画財政課（⑪番窓口）　☎26-7334